

# テレワークによる業務改善例（園芸課）

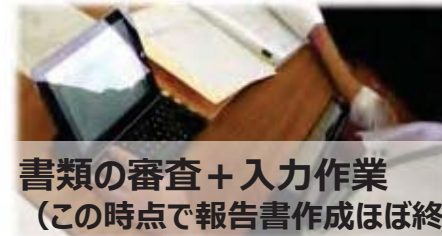
〔調査前〕

必要資料



〔調査実施〕

事務手続き  
確認作業



現地確認



〔調査後〕

調査報告



使用したアプリ



Receiver



GoodReader



PrimeDrive

# テレワークによる業務改善例

(農業改良普及センター・農業技術防除センター)



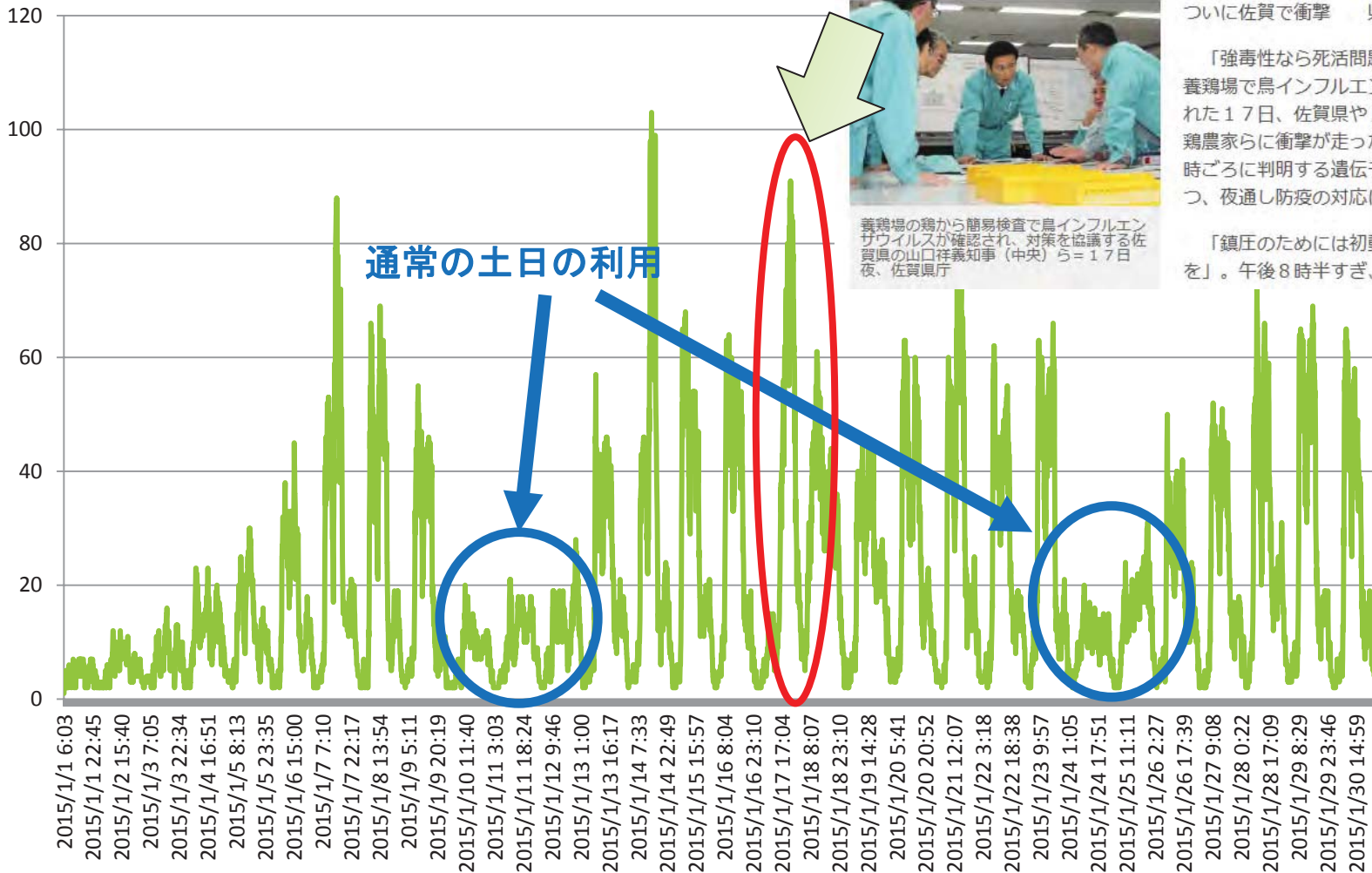
○生産者等への現地指導を行う際、専門技術員が現地に行かなくてもFace Timeの活用などにより現場の状況の把握や普及員への助言等ができるため、効率の良い普及指導活動ができた



○ウンカ被害調査の際、これまでは写真を撮り、別の白地図に写していたが、位置情報付き写真により電子マップ上で場所もわかるようになった

# 有事におけるテレワーク活用事例 (鳥インフルエンザ発生時のモバイルワーク対応)

## 仮想デスクトップログオン実績 (H27.1月分)



### 鳥インフル疑い 養鶏農家らに衝撃、「死活問題」

2015年01月18日 13時08分



養鶏場の鶏から簡易検査で鳥インフルエンザウイルスが確認され、対策を協議する佐賀県の山口祥義知事（中央）ら＝17日夜、佐賀県庁

ついに佐賀で衝撃 県、JA防疫準備に奔走

「強毒性なら死活問題だ」。西松浦郡有田町の養鶏場で鳥インフルエンザの疑いのある鶏が確認された17日、佐賀県やJAさがの防疫担当職員、養鶏農家らに衝撃が走った。関係者は、18日午前1時ごろに判明する遺伝子検査の結果に気をもみつつ、夜通し防疫の対応に追われた。

「鎮圧のためには初動こそが大事。しっかり対応を」。午後8時半すぎ、佐賀市のJAさがでは、急

# 有事におけるテレワーク活用事例 (台風直撃時発生時のモバイルワーク対応)

## テレワークの仮想デスクトップ活用(1週間推移)

### 台風15号、佐賀県内でも被害

2015年08月25日 11時35分



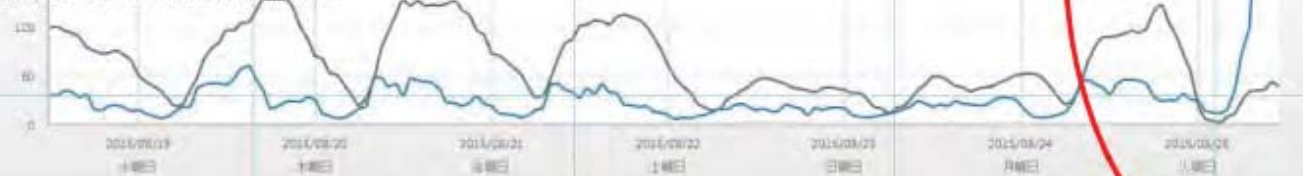
高橋市役所では、駐車場の木の樹幹が50センチ、高さ約20センチの幹が折れて根本からなぎ倒され、道路通行が完全に遮断された。23日午前9時ごろ、鳥栖市役所

#### ■台風のため電子新聞を無料公開中(25日限定)

強い台風15号は25日午前、九州に上陸して北部を北に進み、佐賀県内も大雨強い台風15号は25日午前、九州に上陸して北部を北に進み、佐賀県内も大雨や暴風に見舞われた。JR九州の在来線は始発から全線が運行を見合わせ、佐賀空港を発着する便は始発から3便が欠航した。路線バスも運行見合わせが相次ぎ、長崎道では雄野インターから鳥栖ジャンクションの間で強風により上下線とも通行止めになった。

佐賀地方気象台によると、佐賀市で午前6時15分に最大瞬間風速37メートルを観測。佐賀市三瀬村ではレーダーなどの解析で1時間雨量が120ミリとなり、記録的短時間大雨情報を出した。鳥栖市では1時間当たり最大70ミリの雨が降り、降り始めからの雨量も100ミリに達した。

県によると、午前6時ごろ、杵築郡大町町で歩いて新聞配達をしていた30代男性が転倒、顔と足に



台風接近に伴い、午前4時から徐々に接続数が増え、8時以降は約300人弱が継続してテレワークを実施(在宅・サテライトオフィスで)

デリバリーグループ全体の 使用量

デリバリーグループ ▲

Win7-Desktop

## 1週間の接続数の推移

# <事業名>ふるさとテレワークで人を活かす！九州・みらいジャンクション創出事業

・実施地域：佐賀県鳥栖市  
 ・コンソーシアム：佐賀県、佐賀県鳥栖市、バナナテック、ローカルメディアラボ、佐賀大学、久留米大学、NPO 価値創造プラットフォーム  
 ・実施業務パートナー：カイゼンプラットフォーム、イーパーク、ナビバード

## 地域課題

- 専門性を身につけた優秀な学生が活躍可能な仕事を地元で創る
- 地元での就業を望む県外転出者、地元で暮らす若者世代、育児世代の女性の雇用のミスマッチ解消へ。
- 類いまれな鳥栖市の立地上の利便性の良さを更に活かし、知識産業、サービス産業を誘致および育成を県外転出した学生の呼び戻しで、地元で働ける人材を増やしたい。

## 企業と地域のニーズ

### 【都市部の企業ニーズ】

#### IT系職種

- ・IT系の人材は争奪戦。
- ・人件費も高騰を続けている。
- ・人材育成が十分できない。

#### 事務系・サービス系職種

- ・コストカット必須・業務効率UP必要

### 【都市部企業の社員ニーズ】

- ・勤務先に九州の拠点（または所属する課）はないが、通勤しないで九州に戻りたい

### 【みらいへ Action】

- ・サテライトオフィス・テレワーク活用セミナー開催
- ・本社機能の一部から誘致活動

### 【みらいへ Action】

- ・視察ツアー
- ・相談窓口

### 【佐賀県のニーズ】

テレワーク、ICT活用先進県である佐賀県として、本社機能、IT系事務系の企業誘致と県外流出した人材の呼び戻しで、ふるさと還流を実現したい

### 【企業のニーズ】

人材確保は売り手市場のため対策が必要、働きやすい会社づくりやコストをかけず生産性を上げること。

### 【女性・若者世代のニーズ】

地元で安定して働きたいが、希望に合う仕事がない、正社員や事務系職種で就業したい。

## さがんみらいテレワークセンター鳥栖

(3つの機能を相乗させたハイブリッド型)

### バナナテックサテライトオフィス

類型 A 類型 B 類型 D  
 サポート IT系 事務系



バナナテック

IT系職種の一部を移動開発拠点化として強化  
 3~5名が移住



### 地域住民向コワーキングスペース 類型 C

NPO  
 クラウドソーシングが得意

佐賀大学  
 (佐賀市)

クラウドソーシング知る  
 ↓  
 就業者増

地元学生インターンスキルアップ  
 ↓  
 地元就職実現  
 ↓  
 フリーランス



### 誘致企業向けサテライトオフィス

佐賀県 企業と地産タスクチーム

都市部のIT系企業を中心に進出誘致で九州出身者をふるさとへ

### 生活直結サービス 転入前・転入後の情報不足を補う情報サービス

鳥栖市  
 情報提供課

ローカル  
 メディアラボ

とすまち  
 研究所

SNS/ポータル  
 情報サポート  
 ICT

特徴：地域情報不足のストレスを軽減  
 移住者と市民の双方向コミュニケーションが可能  
 地域コミュニティへの溶け込みが早くなる

## みらいの仕事の質と量を改善

### 人と仕事の流れを九州へ

1. テレワークにより、都市部の県外転出者のふるさと還流を実現
2. IT系人材育成による地元学生の定着（地元での就職率向上）
3. クラウドソーシングを地域の中小企業へ普及生産性向上と女性の継続的な就業も推進

### ICTの力を最大限活用

### 地方創生

- ▶ テレワークによる柔軟な働き方の普及
- ▶ 地方にIT分野の就業機会が増加
- ▶ 地元学生の定着
- ▶ 女性の活躍推進による就業率向上
- ▶ ICTの利活用による地域活性化
- ▶ 新産業育成による雇用創出
- ▶ 地方への還流

テレワーカーを増やす「人を活かす！」人材サービス業で経験を重ねた、人材に寄り添うサポート体制を提供。  
 テレワークで働く人材とのコミュニケーションを大切に、じっくり育成し、働き続けられるようなポイントとのテレビ会議も多数実施予定。